広報ふちゅう【Fuchu】
ほっとするね 緑の府中

令和2年（2020年） 10月11日 第1933号

●発行 府中市 ●編集 政策総務部広報課
●〒183－8703（個別郵便番号） 府中市宮西町2の24
●代表電話 042－364－4111 ●FAX 042－366－1457
●ホームページ http://www.city.fuchu.tokyo.jp/

広報ふちゅう10月11日号は、特別号として10月６日から全戸配布しています。

◯世帯数 126,961（44減） ◯人口 男130,785（19増） 女129,543（162減） 計260,328（143減） うち外国人住民数5,181 （令和２年９月１日現在、（ ）は前月比）

広報紙やSNSなどを活用して市政情報を発信しています

市では、広報紙「広報ふちゅう」のほか、市ホームページやＳＮＳなどを活用し、イベントや市からのお知らせ、防災情報など、市民の皆さんの生活に役立つ情報を発信しています。

問合せは、広報課広報担当（３３５・４０１９）へ。

広報紙「広報ふちゅう」

広報ふちゅうは、毎月１日・11日・21日に市が発行する広報紙です。新聞折込みのほか、市の施設や市内の鉄道各駅、コンビニエンスストア（ファミリーマート・セブン-イレブン）で配布しています。また、希望する方には個別で配布しています。

■個別配布

▽対象 市民
▽申込み 電子メール（kouho01@city.fuchu.tokyo.jp）、またはＦＡＸ（３６１・８２８８）に住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記入して広報課へ／電話可
▽配布方法 地域の新聞販売店（17店舗）が、ご自宅のポストに直接投函
▽配布スケジュール
◯15日までの申込み 翌月１日号からお届け
◯月末までの申込み 翌月21日号からお届け
※現在、個別配布や新聞折込みで広報紙を受け取っている方は、申込みの必要はありません。
※市では、申込者の住所、氏名を新聞販売店に提供します。

無料アプリ「マチイロ」でもご覧になれます

広報ふちゅうをスマートフォンやタブレットなどでご覧いただけるよう、無料アプリ「マチイロ」で配信しています。

■主な特徴

◯配信日にプッシュ通知が届きます
◯ページめくり、拡大・縮小などが簡単にできます
◯バックナンバーや他自治体の広報紙も閲覧できます
◯市のホームページの新着情報などがアプリに自動配信されます
◯ペーパーレスで環境負荷の軽減につながります

▲こちらのＱＲコードからダウンロードできます

▲広報ふちゅうをもっと身近に

市ホームページ

市の最新情報や広報ふちゅうでお知らせした事業の詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

▼▶市ホームページとＱＲコード

メール配信サービス

市からのお知らせを電子メールで受け取れるサービスです。「防災・防犯・不審者情報」「催し・講座情報」など、受け取りたい情報が選択できます。

▲登録方法などはこちら

◀お知らせがメールで届きます

市公式ツイッター

市のＰＲ情報のほか、地震などの災害時には緊急情報を発信します。なお、市の投稿はツイッターの登録の有無にかかわらず、府中市アカウントページでご覧になれます。

◀▲市アカウントページとＱＲコード

テレビ広報「まるごと府中」

毎日の午前９時、正午、午後８時からJ:COMチャンネル（11チャンネル）で放送される行政広報番組です。広報ふちゅうの発行に合わせて、最新情報をお届けしています。また、市のYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

▲ぜひ、ご覧ください

市長コラム97 笑顔の府中

府中市長 高野律雄

多摩川

郷土の森博物館が季節ごとに発行する「あるむぜお」という刊行物があります。毎号しっかり読みますが、今年の３月20日に発行されたNo.１３１に掲載の小野館長の記事を紹介します。タイトルは「多摩川は、なぜ玉川か」。タマ川の名称の由来を考察したものでした。万葉集・東歌に「多麻河伯」と書かれたのが一番古く、玉河、多磨川、玉川などに変化し現在の多摩川になっているが、どのタマも美しい玉石に恵まれ、清流が玉を鳴らす様子を表しているとのことです。

いかに太古の昔からその流れが人々の心を魅了し、自然の恵みを与えたかが分かります。水利によって大規模な稲作地帯を形成し、果樹栽培も発展しました。17世紀に築かれた玉川上水は、多摩川上流の羽村から全長約43キロメートルを流れ、江戸市中へ貴重な飲料水を提供し、武蔵野台地の新田開発にも貢献しました。

しかし、この川には何度も氾濫した歴史もあります。治水の努力については一昨年７月にもこのコラムで紹介しましたが、本市では昨年10月の令和元年東日本台風で、市制始まって以来初の避難勧告を発令したことが記憶に新しいです。今年もすでに日本全国でこれまでに経験したことのない豪雨や台風が大きな傷跡を残しています。あれから一年。市民皆様の命を守り、協働の力で構築する水害対策の大切さが頭から離れたことはありません。

府中市は、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースの開催地・７人制ラグビー（日本）の事前キャンプ地です。また、（オーストリア）と（オーストラリア）のホストタウンです。

©Tokyo2020 ※ホストタウンは、国の事業です。

東京2020オリンピック 開催まで 285日

東京2020パラリンピック 開催まで 317日

↖音声コード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。

ステップ2　非常用の持ち出し品を準備

市は、避難勧告などによる一時避難の際には、食料や飲料水の提供は原則行いません。必要なものは各自で準備し、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

ステップ3　情報の収集方法を確認～デジタルツールをご活用ください

災害時に市から情報発信を行う際は、迅速な発信ができるデジタルツールを主に活用します。
短時間で状況が変化する災害時に正しい情報を得るため、情報の収集方法を普段から確認しておきましょう。

市ホームページ・公式ツイッター

避難情報や避難所の開設状況などをお知らせします。
なお、災害時にはホームページへのアクセス障害が発生しないよう、掲載情報を限定した緊急用ページに切り替えます。

メール配信サービス・Yahoo!防災アプリ

事前登録しておくことで、災害に関する緊急情報などを受け取ることができます。Yahoo!防災アプリは、右下のＱＲコードからダウンロードできます。

テレビ

リモコンのdボタンを押すと、市が発信する避難情報などを確認できます。

緊急速報メール・エリアメール

市内にいる方の携帯電話、スマートフォンに災害情報が自動で表示されます。事前登録は不要です。

防災行政無線

放送した内容は、電話（０８００・８０００・６０６）で確認できます。

▲緊急用ページのイメージ

iPhone 向け　Android 向け
◀Yahoo!防災アプリダウンロード用ＱＲコード

市ホームページ・公式ツイッターへのアクセス、メール配信サービスの登録方法などは、本号１ページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症対策

市では、避難者への検温の実施など、避難所における感染症対策への取組を進めています。
なお、感染している方の避難先は、多摩府中保健所（３６２・２３３４）の指導を受けてください。

避難者間の距離の確保

避難所では、避難者同士の距離を１メートル以上確保します。

定期的な消毒・換気

避難所の消毒や換気を定期的に行います。また、マスクや消毒液などを備蓄し、衛生環境を確保します。

専用スペースの確保

発熱や咳などの症状がある方には、避難所内に専用のスペースを設けます。

マスク、消毒液、体温計、受付時に使用するペンなどは、可能な限り各自で持参をお願いします。

▲避難所での新型コロナウイルス感染症対策イメージ

要配慮者への支援にご協力をお願いします

移動することや危険を察知することが困難な要配慮者が身近にいる場合は、避難情報の共有や、避難を呼びかけて一緒に逃げていただくなど、ご協力をお願いします。

災害時要援護者名簿にご登録ください

市では、災害発生時に自ら避難することが困難な方を登録する、災害時要援護者名簿を作成しています。
作成した名簿は、市と協定を締結した自治会や民生委員などの地域の支援機関に提供され、支援機関は登録者に対する支援者を選定し、支援者は可能な範囲で避難時の支援を行います。
対象や申込みなどの詳細は、高齢者支援課にお問い合わせください。
問合せは、高齢者支援課地域包括ケア推進係（３３５・４５３７）へ。

令和元年東日本台風（台風19号）から１年

水害への備えをお願いします

令和元年10月12日から13日未明にかけて東日本を縦断し、本市をはじめ日本各地に多くの被害を及ぼした令和元年東日本台風から１年を迎えます。
今号では、このような水害から生命や財産を守るために行う、一人ひとりの備えなどについてお知らせします。
問合せは、防災危機管理課災害対策係（３３５・４０９８）へ。

▲◀増水した多摩川と避難所の様子

ステップ1　自宅の浸水リスクと避難先などを確認

多摩川が氾濫すると、市内の多摩川に近い地域を中心に、約３分の１の地域が浸水し、約８万７千人の市民の方の避難が必要となります。水害ハザードマップで自宅の浸水リスクを確認し、避難先や安全な避難方法を検討しておきましょう。

◀水害ハザードマップ

利用方法に応じた避難所を検討しましょう

市では、令和元年東日本台風で得た経験と課題を踏まえ、避難所ごとに利用方法を設定しました。自主防災ふちゅう（第５号）に記載の「多摩川氾濫避難マップ」でお知らせしていますので、家族の状況や自宅の位置を踏まえ、利用方法に応じた避難所に避難しましょう。

利用方法	内　容
徒歩避難者の避難所（14か所）	徒歩で避難する方のための避難所です。車での避難はできません。
要配慮者専用の避難所（８か所）	高齢者、障害者、妊産婦など、配慮を要する方が付き添いの方と一緒に利用でき、専用駐車場もあります。なお、保健師、または看護師を設置しますが、医療的ケアは行いません。
車両避難が可能な避難所（８か所）	車で避難する方のための避難所です。駐車場での車中泊もできます。
自主避難所（早期開設避難所）（15か所）	暴風雨や公共交通機関の運休により、避難が困難になる前の自発的な避難を受け入れるため、早期に開設する避難所です。
ペット同室可の避難所（24か所）	ケージやキャリーバッグを持参した方に限り、ペットと一緒に避難できる避難所です。

※（　）内の避難所数は、市の要請に基づき避難所として開設する、災害時応援協定締結事業所を除いています。

◀多摩川氾濫避難マップ

自主防災ふちゅう（第５号）やハザードマップは、防災危機管理課、または各文化センターに配架しています。また、市のホームページからダウンロードできます。

◀市のホームページのＱＲコード

避難所への集中を避け分散避難にご協力を

市では、避難所の確保を進めていますが、避難が必要な方全てを受け入れるには不足している状況です。新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにも、分散避難にご協力ください。

親戚・知人の家

一時的な車中泊

宿泊施設

逃げ遅れた場合は自宅やマンションなどの高い階層

ふちゅうマイ・タイムラインを活用しましょう

ふちゅうマイ・タイムラインは、いざというときに慌てることがないよう、避難に備えた行動を時間の流れに沿ってあらかじめ決めておくものです。決められた書式に記入するだけで簡単に作成できます。台風などに備えて事前に作成しましょう。
※市のホームページからダウンロードできます。

▲市のホームページのＱＲコード

◀ふちゅうマイ・タイムラインの作成例

５段階の警戒レベルで避難のタイミングを考えておきましょう

気象庁や市では、災害の警戒レベルに応じた５段階の避難情報などを発表します。各レベルに応じた適切な避難行動をお願いします。

警戒レベル	避難情報など	取るべき避難行動
5	災害発生情報（市町村が発令）	命を守るための最善の行動を
4	避難勧告、避難指示（緊急）（市町村が発令）	危険な場所から全員避難を開始
3	避難準備・高齢者等避難開始（市町村が発令）	高齢者や避難に時間がかかる方は避難開始
2	洪水注意報、大雨注意報など（気象庁が発令）	避難に備えて避難行動を確認
1	早期注意情報（気象庁が発令）	災害への心構えを高める

お知らせします　令和元年度決算の状況

令和元年度決算が、9月の第3回市議会定例会で認定されましたので、そのあらましをお知らせします。
問合せは、財政課（３３５・４０２５）へ。

決算の状況

令和元年度は、多磨駅における駅舎の橋上化及び自由通路整備に着手したほか、中心市街地のにぎわい創出及び商業の活性化を目的とした事業を実施しました。

また、ＩＣＴ教育推進のための教育環境の整備を行ったほか、待機児童の解消に向けて私立保育所の施設整備や運営に対する補助事業を実施するなど、市民が安心して暮らせるよう各種行政サービスを展開するとともに、健全財政の維持に努めました。

一般会計では、最終予算額１０６２億９７７６万円に対して、収入済額は１０５７億１１８７万１千円（執行率99・4％）となり、前年度と比較して43億１４２７万９千円（4・3％）の増、支出済額は１０３２億４３３６万６千円（執行率97・1％）で、前年度と比較して52億８７６３万３千円（5・4％）の増となりました。

■歳入

歳入では、財源の中心となる市税は前年度と比較して５３２９万１千円（0・1％）の減となり、歳入総額に占める市税の割合は49・9％となっています。また、都支出金では、私立保育所の施設整備や幼児教育無償化に係る補助金などにより、11億７６５２万９千円（10・7％）の増となっています。

■歳出

歳出では、前年度と比較して、主に、民生費で13億２３１８万７千円（2・6％）、土木費で６億４７２１万２千円（10・7％）、教育費で12億８１５３万６千円（10・5％）の増となっています。

令和元年度に実施した主な事業

- ○多磨駅における駅舎の橋上化及び自由通路整備
- ○ＩＣＴ教育推進のための教育環境の整備
- ○ラグビーワールドカップ２０１９開催に伴うイベントなどの実施
- ○市制65周年記念市民パレードの実施
- ○待機児童解消に向けた私立保育所の施設整備や運営の支援
- ○防災ハンドブックの作成

◆令和元年度　一般会計歳入・歳出決算の概況◆

※各科目の決算・合計額は、千円未満を切り捨てた額です。

◆市税・市債・基金の推移◆

※市債は、下水道事業特別会計分を除きます。

市では、市税のほか、基金の取り崩しや義務教育施設整備事業債などの市債の借入れにより、財源を確保しています。一方で基金は、道路や公園の築造、老朽化による施設の改修など、将来の財政負担に備え、計画的に積み立てています。

◆令和元年度　各特別会計歳入・歳出決算の概況◆

会計別	最終予算額	収入済額	執行率(%)	支出済額	執行率(%)
国民健康保険	234億9473万1千円	233億1676万7千円	99.2	233億　739万2千円	99.2
後期高齢者医療	54億8385万2千円	54億7089万6千円	99.8	54億7047万9千円	99.8
介護保険	181億1611万6千円	180億　45万9千円	99.4	174億4024万7千円	96.3
公共用地	13億4082万7千円	13億4264万3千円	100.1	12億5773万4千円	93.8
下水道事業	36億6925万8千円	34億9107万5千円	95.1	29億7145万3千円	81.0
合計	521億　478万4千円	516億2184万3千円	99.1	504億4730万7千円	96.8

※各会計・合計の決算額は、千円未満を切り捨てた額です。
※下水道事業特別会計は、令和２年度から公営企業会計に移行するため、令和２年３月31日で打切決算を行いました。

◆令和元年度　公営企業会計決算の概況◆

会計	区分	収入			支出		
		最終予算額	決算額	執行率(%)	最終予算額	決算額	執行率(%)
競走事業	収益的収支	813億　255万7千円	709億5008万3千円	87.3	788億4137万1千円	683億3142万円	86.7
	資本的収支	5億1571万3千円	5億1261万5千円	99.4	34億2450万3千円	33億9775万7千円	99.2

※各科目の決算額は、千円未満を切り捨てた額です。
※令和元年度は一般会計・用地会計へ合計で27億円繰り出しています。

◆市債の状況◆

区分		平成30年度末現在高	令和元年度起債額	令和元年度償還額	令和元年度末現在高
一般会計	教育債	161億8633万1千円	6億1940万円	14億4777万2千円	153億5795万9千円
	土木債	83億1423万4千円	6億9230万円	6億6698万5千円	83億3954万9千円
	その他	177億7892万3千円	6億6240万円	17億　108万2千円	167億4024万1千円
下水道事業特別会計		46億9961万1千円	8540万円	2億9476万6千円	44億9024万5千円
合計		469億7909万9千円	20億5950万円	41億1060万5千円	449億2799万4千円

※「その他」は、総務債、民生債、衛生債、商工債、消防債、減税補てん債、臨時財政対策債です。

◆主な市有財産の状況◆

種別	令和元年度末の状況	内容
土地	164万　378.99㎡	庁舎、学校、公園などの敷地
建物	64万5761.05㎡	庁舎、学校、文化センターなどの建物
基金現在高	749億5219万5千円	財政調整基金、公共施設整備基金、総合計画4分野の基金ほか

回答はお済みですか

国勢調査の回答が済んでいない方に、「調査票の提出のお願い」を配布します。早めに調査票を記入のうえ、返信用封筒で郵送してください。

また、調査票が届いていない世帯や回答の仕方が分からない場合は、お問い合わせください。

問合せは、国勢調査コールセンター（３３５・４３０４）へ。

カード形式の障害者手帳を交付

市では、10月からカード形式の障害者手帳の交付申請を受け付けています。

問合せは、障害者福祉課援護係（３３５・４１６２）へ。

▽対象　身体障害者手帳、愛の手帳（東京都療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳
※精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、新規、または更新手続き時のみカード選択ができます。
※申込みなどの詳細は、障害者福祉課へお問い合わせください。

開かれた市政のために　オンブズパーソンの委嘱

任期満了に伴い、10月1日付けで、市議会の同意を得た次の方々に新たなオンブズパーソンを委嘱しました。任期は2年です。

問合せは、オンブズパーソン事務局（３６６・１７１１＝市民相談室内）へ。

■近藤わかな
立川市柴崎町／53歳／弁護士

■河野泰義
多摩市関戸／64歳／大学客員教授

お知らせします

令和2年度 一般・特別会計補正予算

令和２年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の補正予算が９月の第３回市議会定例会で可決されましたので、そのあらましをお知らせします。

問合せは、財政課（３３５・４０２５）へ。

一般会計

補正予算では、府中市新型コロナウイルス感染症緊急対応方針に基づき、生活支援対策、経済支援対策、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策、小・中学校の臨時休校等に伴う学習支援対策の４分野13事業を実施するほか、当初予算編成後の状況の変化などに対応するため、歳入・歳出それぞれ40億９１５１万５千円を増額し、令和２年度の予算総額は１３７１億４８８３万２千円になりました。

■歳入

歳入では、市債を３０００万円減額する一方で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金で14億７７１５万２千円、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金などの都支出金で１億５２９１万９千円、寄附金で３億８４００万円、繰入金で７億７２２８万３千円、前年度からの繰越金で13億３４５０万５千円、諸収入で65万６千円を増額し、合計で40億９１５１万５千円を増額しました。

■歳出

○総務費…Web会議システムの導入に係る経費、府中ふるさと寄附金に係る経費など、合計で１億９７５９万９千円を増額しました

○民生費…保育所などにおける新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品の購入に係る経費、国・都の補助金などの精算返還金など、合計で４億８３９４万３千円を増額しました

○衛生費…リサイクルプラザ資源棟設備の改修に係る経費、都の補助金の精算返還金で、９７５９万９千円を増額しました

○商工費…消費喚起商品券の交付事業の助成に係る経費で12億１００５万円を増額しました

○土木費…多磨駅の既存構造物の撤去や外構工事が令和３年度完了見込みとなることから、鉄道駅整備事業費、多磨駅改良整備事業費など、合計で２億４９３６万８千円を減額しました

○消防費…新型コロナウイルス感染症対策のための避難所用備蓄品の購入に係る経費、国土強靭化地域計画の策定支援委託に係る経費で、１５２５万９千円を増額しました

○教育費…児童・生徒に対するタブレット端末の整備及び校内通信ネットワークの整備に係る経費、小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品の購入に係る経費など、合計で18億１７４万７千円を増額しました

○諸支出金…文化・学習基金積立金で２億５５８万６千円、都市基盤・産業基金積立金で１億９９００万円を増額するなど、合計で５億３４６８万６千円を増額しました

特別会計

■介護保険特別会計

国庫・都支出金の精算返還金などで、歳入・歳出それぞれ５億８７７１万５千円を増額しました。

公営企業会計

■下水道事業会計

公営企業会計への移行により、令和元年度中に発生した債権及び債務を整理するため、当初予算において見込額として計上していた未収金を２億２１４４万３千円に、未払金を４億５９１万９千円に改めました。

◆新型コロナウイルス感染症対策に係る事業◆

区分	事業数	事業費
生活支援対策	1事業	3544万2千円
経済支援対策	1事業	12億1005万円
新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策	10事業	2億2546万9千円
小・中学校の臨時休校等に伴う学習支援対策	1事業	16億2705万4千円
合計	13事業	30億9801万5千円

◆一般会計補正予算の内訳◆

【歳入】

科目	補正前の額	補正額	補正後の額
国庫支出金	457億2868万3千円	14億7715万2千円	472億 583万5千円
都支出金	136億1158万3千円	1億5291万9千円	137億6450万2千円
寄附金	6億6362万7千円	3億8400万円	10億4762万7千円
繰入金	41億2954万3千円	7億7228万3千円	49億 182万6千円
繰越金	11億円	13億3450万5千円	24億3450万5千円
諸収入	33億4570万6千円	65万6千円	33億4636万2千円
市債	22億 400万円	△3000万円	21億7400万円
歳入合計	1330億5731万7千円	40億9151万5千円	1371億4883万2千円

【歳出】

科目	補正前の額	補正額	補正後の額
総務費	106億4361万2千円	1億9759万9千円	108億4121万1千円
民生費	551億1086万5千円	4億8394万3千円	555億9480万8千円
衛生費	67億2105万6千円	9759万9千円	68億1865万5千円
商工費	278億7544万7千円	12億1005万円	290億8549万7千円
土木費	79億8381万4千円	△2億4936万8千円	77億3444万6千円
消防費	30億4877万5千円	1525万9千円	30億6403万4千円
教育費	159億6673万6千円	18億 174万7千円	177億6848万3千円
諸支出金	5億9300万円	5億3468万6千円	11億2768万6千円
歳出合計	1330億5731万7千円	40億9151万5千円	1371億4883万2千円

※歳入・歳出合計は、補正をしない科目を含めた予算の総額です。

◆特別会計補正予算の内訳◆

会計	補正前の額	補正額	補正後の額
介護保険	187億 40万8千円	5億8771万5千円	192億8812万3千円

補正予算の主な事業 新型コロナウイルス感染症対策

○プレミアム付商品券（地元応援商品券「ふちゅチケ」）の発行
○Web会議システムの導入
○小・中学校、幼稚園、保育所、学童クラブ、特別養護老人ホームにおける感染症対策に必要な物品・設備の購入、整備
○避難所用の備蓄品の購入
○小・中学校の臨時休校などに伴う、学習支援のためのタブレット端末、ネットワーク環境の整備

避難路に面した危険なブロック塀などの撤去・建替にかかる費用の一部を助成

ブロック塀等安全対策費用助成金

市では、災害時などにおける市民の安全・安心のため、市が定めた避難路に面し、倒壊の危険性が高いと判断されたブロック塀などの撤去・建替費用の一部を助成します。

問合せは、建築指導課狭あい道路係（３３５・４３２７）へ。

■事業の概要

▽対象　次の全てに該当するもの
○工事契約前のもの
○市内の避難路に面したブロック塀ほか
○下の点検チェック項目で該当しない項目があり、倒壊の危険性があるもの
○建替えの場合は、災害に対して安全な構造となるもの
▽助成額　工事費用（上限１㍍当たり８万円）の３分の２
※原則として、予算の範囲内で助成します。また、国産木材を使用した木塀で建て替える場合には、助成額を加算します。
▽申込み　決められた用紙（府中駅北第２庁舎１階建築指導課に用意、ダウンロード可）で、建築指導課（〒183－0056寿町１の５）へ／電子メール可

◆助成対象例◆

点検チェック項目

□塀の高さは地盤から2.2㍍以下である
□塀の厚さは10センチ㍍以上である（塀の高さが２㍍を超え、2.2㍍以下の場合は15センチ㍍以上）
□塀の長さ3.4㍍以下ごとに、塀の高さの５分の１以上突出した控え壁がある（塀の高さが1.2㍍を超える場合）
□コンクリートの基礎がある
□塀に傾き、ひび割れはない
□塀の中に直径９ミリ㍍以上の鉄筋が、縦横とも80センチ㍍間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている
□基礎の根入深さは30センチ㍍以上ある（塀の高さが1.2㍍を超える場合）

市からの情報かわら版

○各事業の申込み（先着順）で、時間の記載のないものは、午前８時半から受け付けます

各種催しなどは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止する場合があります。詳細は、ホームページでご確認いただくか、各担当へお問い合わせください。

講座・催し

公共施設包括管理業務委託の意見交換会

市では、保守点検業務を一括して民間事業者に委託する公共施設包括管理業務委託について、試行的に実施した令和元年度の実施内容の報告と意見交換を行います。

▽日時　10月22日（木）午後２時～４時
▽会場　府中駅北第２庁舎３階会議室
▽対象　建設業を営む市内事業者
▽定員　先着30人
▽申込み　10月12日（月）から建築施設課へ／電子メール可
▽問合せ　建築施設課保守管理担当（３３５・４３５７）

自動車運転シミュレーターによる自己運転技術力判定会

安全運転の方法を学ぶことができる自動車運転シミュレーターを使った判定会を開催します。

▽日時　10月27日（火）午前９時～10時・10時半～11時半、午後１時半～２時半・３時～４時
▽場所　市役所７階事務スペース
▽対象　日常的に車を運転する65歳以上の市民で、自分の運転を見直したい方
▽定員　各先着２人
▽申込み　10月12日（月）から地域安全対策課へ
▽問合せ　地域安全対策課安全係（３３５・４１４７）

フードドライブにご協力ください

市では、食品ロスの削減を目的として、家庭で余っている食品を福祉団体や施設などに寄付するフードドライブを実施します。フードドライブへの提供のために購入したものでなく、ご自宅などで長期間消費しなかったもののうち、賞味期限が１か月以上先で、未開封かつ生鮮食品でない食品を募集しますので、ぜひ、お持ちください。

▽日時　10月26日（月）から30日（金）午前９時～午後５時
▽会場　市役所１階市民談話室
▽問合せ　ごみ減量推進課３Ｒ推進係（３３５・４４３７）

認知症サポーター「ささえ隊」養成講座

▽日時　11月５日（木）午後２時～３時半
▽会場　片町文化センター
▽対象　市民
▽定員　先着20人
▽費用　無料
▽内容　認知症の正しい理解と対応
▽講師　地域包括支援センターかたまち職員
▽申込み　10月11日（日）から地域包括支援センターかたまち（３３６・５８３１）へ
▽問合せ　高齢者支援課地域包括ケア推進係（３３５・４５３７）

家族介護者教室「認知症状への対応～レビー小体型認知症とは」

▽日時　10月31日（土）午前10時～11時半
▽会場　是政文化センター
▽定員　先着15人
▽費用　無料
▽内容　認知症の症状と対応、日常生活の注意点ほか
▽講師　青柳宇以氏（根岸病院認知症疾患医療センター長）
▽申込み　10月12日（月）から地域包括支援センターこれまさ（３１４・０４５１）へ
▽問合せ　高齢者支援課地域包括ケア推進係（３３５・４５３７）

消費生活講座「シニアのためのスマホ・ケータイ安全教室」

▽日時　11月５日（木）午後２時～４時
▽会場　市民活動センター「プラッツ」
▽対象　60歳以上の市民
▽定員　20人（抽せん）
▽費用　無料
▽内容　スマートフォンの基本操作、シニアの方が安全・安心に利用するための知識や便利なアプリの紹介ほか
▽講師　ＫＤＤＩ認定講師
▽申込み　10月26日（月）まで（必着）に往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、返信用宛名を記入して、消費生活センター「消費生活講座11月」係（〒183－0023宮町１の100）へ／電子メール可
▽問合せ　消費生活センター（３６０・３３２０）

おしらせ

ひとり親家庭等医療費助成制度の現況届

ひとり親家庭等医療証は、毎年１月１日に更新します。医療証をお持ちの方に現況届を10月16日（金）に発送しますので、11月４日（水）まで（必着）に、同封の返信用封筒で郵送してください。

なお、現況届の提出がない場合は、新しい医療証の交付ができませんのでご注意ください。

問合せは、子育て応援課コールセンター（０５７０・０８・８１０５）へ。

児童手当・児童育成手当の支給

10月は、児童手当・児童育成手当の定例支給月です。令和２年６月から９月分の手当を、対象の方に振り込みます。

▽振込予定日　10月15日（木）
▽問合せ　子育て応援課コールセンター（０５７０・０８・８１０５）

スポーツ

少年剣道大会団体戦

▽日時　12月６日（日）午前９時
▽会場　日吉体育館
▽対象　令和２年度スポーツ傷害保険に加入している小・中学生で編成された、市内で活動しているチーム
▽費用　無料
▽チーム編成　１チーム７人／先鋒・次鋒（小学４年生以下）、五将・中堅・三将（小学６年生以下）、副将・大将（中学生以下）
※補欠は１チーム３人までで、１団体から２チーム参加する場合は１団体６人までです。
※４～６人のチームも参加できます。
▽申込み　10月23日（金）までに、決められた用紙（府中駅北第２庁舎４階スポーツ振興課に用意、ダウンロード可）で、スポーツ振興課へ／電子メール可
▽問合せ　スポーツ振興課スポーツ推進係（３３５・４４９９）

審議会・協議会など

■教育委員会定例会
10月15日（木）午後２時　教育センター／傍聴希望の方は前日までに、教育総務課へ／問合せは同課総務係（３３５・４４２４）へ

■障害者等地域自立支援協議会
10月16日（金）午前10時　市役所北庁舎３階会議室／傍聴希望の方（先着３人）は10月12日（月）から前日に、障害者福祉課へ／問合せは同課生活係（３３５・４５４５）へ

■総合計画市民検討会議
10月17日（土）午前10時　府中駅北第２庁舎３階会議室／傍聴希望の方（先着５人）は10月12日（月）から前日に、政策課へ／問合せは同課（３３５・４１８８）へ

長期保管中のマイナンバーカードを廃棄します

市では、マイナンバーカードの交付通知書を送付してから１年間受け取りがないカードを廃棄します。

受け取りを希望する方で、交付通知書を紛失した方は、お問い合わせください。

問合せは、総合窓口課窓口第１係（３３５・４３３３）へ。

公園はルールやマナーを守って　安全に利用しましょう

市では、自治会や近隣住民のご協力のもと、公園の快適な環境づくりを行っていますが、利用者の皆さんの心掛け次第でより良い公園環境を維持することができます。
一人ひとりがマナーを守り、思いやりをもって利用しましょう。
問合せは、公園緑地課公園管理係（３３５・４２６３）へ。

■公園の施設は大切に
○樹木や草花をむやみに傷つけない
○たき火や花火など、火気は使用しない
○トイレはきれいに使用し、落書きをしない
※施設を破損した場合や、破損などを見つけた場合は公園緑地課へ連絡をお願いします。

■来たときよりも美しく
○ごみやたばこの吸い殻は必ず持ち帰る
○ペットを放し飼いにせず、ふんなどは飼い主が責任をもって処理する

■他の利用者や近隣住民に思いやりを
○スケートボードなどでの遊びが禁止されている公園では、これらを使用しない
○早朝や夜間に大声で騒がない、大きな音を出さない
○動物に餌やりをしない

ルールを守って通行しましょう
府中多摩川かぜのみち

府中多摩川かぜのみちは、散策やジョギング、サイクリングなど様々な目的で多くの方が利用しています。自転車はスピードを落とし、左側通行で道の中央寄りを、散策やジョギングをしている方は、右側通行で道の端を通行しましょう。

通行ルールを守ることが、トラブルや人身事故を防ぐことにつながります。

問合せは、郷土の森公園管理事務所（３６４・７２１４）へ。

市の施設☆講座・催し情報

○各事業の申込み（先着順）で、時間の記載のないものは、午前９時から受け付けます

各種催しなどは、中止する場合があります。また、施設利用の際には、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用や検温などにご協力をいただく場合があります。詳細は、ホームページでご確認いただくか、各担当へお問い合わせください。

生涯学習センター

〒183-0001　浅間町１の７
☎０５０・３４９１・９８４９

■楽団員に学ぶ管弦楽の夕べ「弦楽五重奏の魅力と楽しみ方」／F

日11月14日、12月５日・26日（土）午後２時～４時（全３回）場講堂対高校生以上の方定先着100人費2000円内ベートーベンやシューベルトの名曲を演奏講カルテットシエル楽団員申当センターへ

■こどもマーケター入門～チョコレートの世界

日11月10日・17日・24日（火）午後４時半～６時半（全３回）場３階和室対小学生定先着15人費3000円内お菓子を用いたシミュレーション講座申当センターへ

郷土の森博物館

〒183-0026　南町６の32
☎３６８・７９２１
入場料　３００円（中学生以下１５０円）

■わらぞうり教室

日10月25日（日）午後１時～３時場ふるさと体験館定先着６人費1000円他小学４年生以下は保護者同伴申10月11日（日）から電話で当館へ

府中の森芸術劇場

〒183-0001　浅間町１の２
☎３３５・６２１１
【チケットの申込み】
・チケットふちゅう（午前10時～午後６時）
☎３３３・９９９９
・チケットぴあ（各チケット予約開始日の午前10時から）
☎０５７０・０２・９９９９

■府中の森笑劇場「紫綬褒章受章に輝く・春風亭小朝独演会」

日12月５日（土）午後２時・６時場ふるさとホール費入場料3800円（全席指定）出春風亭小朝ほか他未就学児の入場不可申チケット予約開始は10月15日（木）／発売は翌日から

▲春風亭小朝

ＦＣ東京コーチ　ジュニアスポーツ指導者から学ぼう！　オンライン講習会

市では、ＦＣ東京と協働して、体を動かすことやチャレンジすることの楽しさを子どもたちに働きかける指導法、新型コロナウイルス感染症の流行下における指導のポイントなどのオンライン講習会を開催します。
この機会に、改めて子どもたちの指導法について考えてみませんか。
問合せは、スポーツ振興課スポーツ推進係（３３５・４４９９）へ。

▽日時　11月１日（日）午後４時～６時・６日（金）午後７時～９時
▽定員　各25人（申込み多数の場合は市民を優先して抽せん）
▽費用　無料
▽講師　宮本貴史氏（ＦＣ東京普及部コーチ）
※申込みなどの詳細は、市のホームページをご確認ください。

▲宮本貴史氏

▲市のホームページのＱＲコード

■府中少年少女合唱団団員募集

日練習は毎週土曜日の①午後２時～３時半・②２時半～５時対市民で、①小学１～３年生・②４年～中学３年生定各先着30人費月額3500～4500円（教材などが別に必要）講上田京子氏（声楽家）ほか申10月11日（日）から当劇場へ問事業係（335・6210）へ

ルミエール府中

〒183-0055　府中町２の24
・中央図書館☎３６２・８６４７

■簡単にできる手作り本「豆本のカードスタンドを作ろう！」

日11月１日（日）午後２時～４時場講習会議室対中学生以上の方定先着12人費500円内自家製本する体験実習講津村明子氏（装丁家）申10月11日（日）から中央図書館へ

■特集展示「新型コロナに負けない！本の処方箋～おうち時間におすすめの一冊」

日10月11日（日）午前９時から各館の閉館時間場中央・各地区図書館費無料内利用者の方が紹介するおすすめ本を、「本の特効薬」として６つのテーマに分け、ラッピングして貸出申当日直接会場へ、または午後７時までに電話で中央図書館へ

市民活動センター「プラッツ」

〒183-0023　宮町１の100
☎３１９・９７０３

■交流会「コロナ禍に起きた災害支援から学ぶ」

日10月31日（土）午後１時半～４時場第２会議室対地域活動をしている方費無料内コロナ禍での被災地支援状況の講演、参加者同士の交流講ピースボート災害支援センター職員申当センターへ／電子メール可

■市民活動応援助成金「エール」対象事業「感じる心・人間らしさを育む『フリードルのアトリエ』」

日①11月８日（日）午前10時～11時半、午後２時～３時半、②午前10時～午後４時半場①あそびのアトリエ「ズッコロッカ」・②Co-study space“Posse”（清水が丘３の29）定①各先着５組費①１組1200円、②無料内①廃材や植物などを使った創作活動、②テレジン収容所の子どもたちが遺した絵のレプリカ展示他①保護者１人につき子ども２人まで（未就学児は保護者同伴）申10月12日（月）午前10時からテレジンを語りつぐ会府中・加藤宛（090・8059・2637）へ

子ども家庭支援センター「たっち」

〒183-0023　宮町１の50
☎３５４・８７００

■１歳児交流会「はいぽ」

日①11月13日・27日、②11月20日、12月４日（金）午前10時15分～11時15分（各全２回）場交流ひろば対交流ひろばの利用登録（予定可）をしている市民で、①平成31年４月～令和元年６月生まれの第１子と親、②令和元年７月～９月生まれの第１子と親定各７組（抽せん）費無料内親子遊びほか申10月29日（木）まで（必着）に、往復はがき（１組１枚）に住所、親子の氏名（ふりがな）、子の生年月日・性別、電話番号、参加動機、返信用宛名を記入して、当センター「１歳児交流会」係へ／返信用はがき持参での申込み可

介護予防推進センター「いきいきプラザ」

〒183-0033　分梅町１の31
☎３３０・２０１０

■元気一番!!ひろめ隊～運動普及員による体操

日10月19日・26日（月）午後１時半～２時半定各先着20人（１人１回）内昔のラジオ体操とエアロビクス

■世代間交流「さつま芋掘り体験」

日10月20日（火）午前10時～11時定先着５人内子どもたちと芋掘り体験

◆　共通項目　◆

対65歳以上の市民費無料申10月12日（月）から当センターへ

心身障害者福祉センター「きずな」

〒183-0026　南町５の38
☎360・1312／FAX368・6127

■リラクゼーションヨガ

日11月12日（木）午後１時20分～２時50分対身体障害のある歩行が可能な方定８人（抽せん）費無料申10月30日（金）までに当センターへ

■フラワーアレンジメント教室

日11月13日（金）午後１時半～３時対身体障害のある方定６人（抽せん）費1500円申11月６日（金）までに当センターへ

ふれあい会館

〒183-0055　府中町１の30
・シルバー人材センター☎３６６・２３２２

■シニア向けスマートフォン体験会

日10月26日（月）午後１時半～２時半・３時～４時場１階ミーティングルーム対60歳以上で、スマートフォンを持っていない方定各先着３人申10月12日（月）からシルバー人材センターへ

○掲載内容は、当事者間で責任をお持ちください
○はがきなどでの申込みは、住所・氏名・電話番号などを記入してください

各種催しなどは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止する場合があります。詳細は、各問合せ先へお問い合わせください。

ひろば

■個人事業主のための帳簿のはじめ方セミナー

日①10月21日（水）午前９時半～11時半、②午後２時～４時場武蔵府中青色会館対初めて開業した個人事業主定各先着20人費無料内帳簿のつけ方や青色申告特別控除の改正（参加者が10人未満の場合は個別相談会）講武蔵府中青色申告会職員他筆記用具・電卓持参申問同会事務局（362・8608）へ

■東京たま広域資源循環組合入札参加申請の受付　日10月16日（金）から11月２日（月）内令和３・４年度の工事・物品買入れなどの入札参加申請の受付申同組合総務課契約担当（〒190－0181西多摩郡日の出町大字大久野7642番地）へ問同組合（042・597・6151）へ

官公庁から

■教育支援資金（入学金・授業料貸付）　対市民で、令和３年４月に高校、専修学校、短大、大学などに在学している方、または進学を予定している方がいる世帯内貸付限度額は入学金50万円、授業料（月額）高校５万2500円、専修学校・短大９万円、大学９万7500円他貸付を受けるためには一定の条件がありますので、申込み前にお問い合わせください／ほかの貸付制度が利用できる場合はその利用が優先／既に支払済みの費用は貸付対象外申問社会福祉協議会（360・9996）へ

■行政相談委員制度60周年パネル展　日10月13日（火）午前10時～午後４時場新宿駅西口広場内10月19日（月）から25日（日）の行政相談週間に伴う、行政相談・委員制度の周知ほか他行政相談センターきくみみ東京「行政苦情110番」（0570・090110）でも相談を受け付けます問東京行政評価事務所（03・5331・1752）へ

10月18日（日）総合防災訓練

市では、震災に備えて10月18日（日）に総合防災訓練を行います。

指定避難場所及び一次避難所となる市内小・中学校を地域の防災拠点と位置付け、災害時に重要となる自分の命は自分で守る「自助」と、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の考え方を基本とした防災訓練を実施しますので、ぜひ、ご参加ください。

問合せは、防災危機管理課災害対策係（３３５・４０９８）へ。

■体験型訓練

▽時間　午前９時～正午
▽会場　南町小
▽内容
○住民避難訓練
○初期消火訓練、スタンドパイプからの放水訓練
○起震車による地震体験、救出救助体験、防災関係機関のＰＲブース展示
○り災証明書発行訓練
○風水害時の避難についての講話、避難所用資機材展示
○防災機関による救出救助・放水演習見学

■避難所体験訓練

▽時間　午前10時半～正午
▽会場　若松小、五中
▽内容
○住民避難訓練、避難所見学
○消防団による放水演習

◆　共通項目　◆

▽日程　10月18日（日）
▽申込み　当日直接会場へ
※訓練には避難訓練を兼ねて徒歩でお越しください。
※受付での検温、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

震災に備えよう

■建物の耐震性の確認を

倒壊した家屋は道路などを寸断し、救助活動や緊急自動車の通行の妨げになるほか、火災を発生させる原因になります。自分と家族の大切な命を地震から守るために、自宅の耐震性を確認しましょう。

■非常食・非常持出し品の用意を

市が備蓄している非常食などの物資は、自宅で生活ができなくなった人を対象としているため、最低３日分以上の非常食は各自で備蓄しましょう。

▽過去の震災から学ぶ、あって良かった備蓄品
○カセットコンロ
○ウェットティッシュ
○ポリタンク
○ラジオ・携帯電話
○懐中電灯
○手回し式・ソーラー式充電器
※災害時に必要なものは様々あります。自分に必要なものをよく考えて備蓄しましょう。

なお、都が過去の地震を基に平成24年４月に公表した被害想定によると、マグニチュード７を超える地震の場合、ライフラインの復旧期間はおおむね次のとおりです。
○電気の復旧…１週間程度
○電話などの通信の復旧…２週間程度
○水道・下水道の復旧…１～３か月程度
○ガスの復旧…１～２か月

申込みは10月16日（金）まで

地元応援商品券「ふちゅチケ」

市では、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ消費を喚起し、市内経済の早期回復を目指して、プレミアム率40%の地元応援商品券「ふちゅチケ」を販売します。

購入を希望する方は、10月16日（金）までに申込みが必要です。期間内にお申し込みください。

問合せは、地元応援商品券「ふちゅチケ」コールセンター（０４２・５２１・５６１３）へ。

地元応援商品券「ふちゅチケ」

▽対象　市民
▽販売数　260000冊
▽価格　１冊10000円
▽内容　全登録店で利用できるＡ券（500円券・12枚）と、大型店以外の登録店で利用できるＢ券（500円券・16枚）の28枚つづり（総額14000円分）
▽申込み　10月16日（金）まで（当日消印有効）に、専用のはがき（９月30日から全戸配布したチラシに添付）で郵送／特設ホームページから申込み可／１人５冊まで申込み可能で、申込み多数の場合は抽せん
※１人１冊は必ず購入できます。

▲特設ホームページのＱＲコード

商品券の販売

▽日時　①11月９日（月）から30日（月）の平日の午前９時～午後５時、②11月14日から29日の土・日曜日・祝日、12月１日（火）から11日（金）午前９時～午後５時
▽購入方法　購入引換券、現金を持って、①市内全郵便局（武蔵府中郵便局は午後７時まで）、②ホテルコンチネンタル府中（府中町１の５）、府中アーバンホテル別館（宮西町１の11）、マロウドイン東京（若松町１の４）へ

商品券の利用

▽期間　11月９日（月）から令和３年３月10日（水）
▽利用可能店舗　商品券取扱店に登録された市内店舗
※利用可能店舗は、ポスターなどを掲示するほか、特設ホームページで随時情報を更新します。

商品券取扱希望事業者を募集

市では、地元応援商品券「ふちゅチケ」の取扱事業者を募集しています。取扱希望の事業者はお申し込みください。
▽対象　市内に店舗を有する事業者
▽申込み　12月25日（金）まで（当日消印有効）に、決められた用紙（市役所４階産業振興課、むさし府中商工会議所に用意、ダウンロード可）で、むさし府中商工会議所（〒183－0006緑町３の５の２）へ